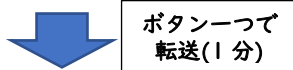


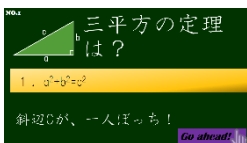
### 1 ICT = 「教材を作る時間がない…」からの脱却

- ・ Word の差し込み機能が、PowerPoint にはないのか！？  
⇒ 「マクロを組みばできるらしい…。一から猛勉強!!!
- ・ Excel で作成したデータベースを PowerPoint に自動転送!  
⇒ 2 択、3 択、4 択、5 択、図有り問題等、バリエーション豊富
- ・ 既存の動画やスライドは、「見る・聞く」だけのものばかり。  
⇒ 思考・判断・選択・評価をし、受動的から能動的学習へ。  
⇒ ハイパーリンクを活用することで、選択が可能に。



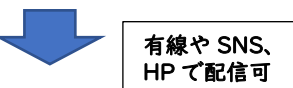
### 2 生徒にお披露目すると…

- ・ 「すげー！ゲームみたい！」と興味津々。  
⇒ いえ、勉強です。
- ・ 要望① 体力ゲージがあり 3 回間違えたらゲームオーバー (実現！)  
⇒ 反復にはもってこい！
- ・ 要望② 時間制限つき (未実現)  
⇒ 緊張感を作るには good !
- ・ 要望③ 隠し絵をクリックすると、<sup>フィフティ</sup>50% / <sup>フィフティ</sup>50% (実現！)  
⇒ 「クイズミリ〇ネア」



### 3 授業で活用 ～静かな授業から一変

- ・ 効果音や BGM を入れ、ゲーム感覚に (ドラ〇エ風)  
⇒ 80 点以上でレベル UP、ゲームオーバーなど。
- ・ 毎時の導入の 5 分で、単元で使う 公式の予復習 を行う。  
⇒ 「1 番だと思ふ人」と挙手させたり、生徒を指名させたり。



### 4 スマホで活用 ～いつでも手軽に予復習

- ・ スマートフォンやタブレットでは、タッチで手軽に操作。  
⇒ PowerPoint をインストール (無料) すれば OK。データ量も小
- ・ すき間時間を活用して勉強することができる。  
⇒ 朝学習や通学時間で、反復して覚えられる。

## 5 成果と課題 ～結局、何に使えるのか！？

・公式・定理の反復をする、英単語・熟語のフラッシュを簡単に作成する、センター対策、検定取得など4択・5択試験の演習をするには有効。

・生徒のアンケートの結果から、「絶対使える！」と答えた人は5割。でもそのほとんどがは普段勉強していない人(笑) まったく机に向かうことがない人が勉強をするきっかけになる可能性が…

・教師が試行錯誤し生徒の意見を聞きながら、プログラムを勉強していく姿勢を見せられたことは、刺激になって良かったのではないだろうか。

・問題形式が1問1答 onlyで限定的であることが一番の課題 (既存のアプリと変わらない)。

解答が複数行となる問題では、解答の一連の流れの中で、判断するポイントを問う必要がある。

例えば三角比で、初めに「使う公式はどっち？」と聞かれて2択「正弦定理」or「余弦定理」を判断し、計算過程を確認。最後に「答えとして適当なのはどっち？」と再度判断するなど。

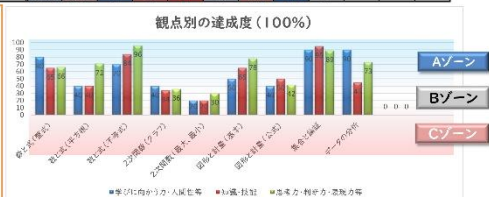
## 6 次時の課題

「超楽々!単元毎の観点別評価」～振り返り個票で、生徒にも還元する評価へ

### 観点別評価の推移

評価の観点	満点	番号										氏名	努力度	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
学びに向かう力・人間性等	20点中	A	B'	A'	B'	C	B	B'	A	A				
知識・技能	40点中	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
思考力・判断力・表現力等	40点中	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
合計	100点中	A'	B	A	B'	C	A'	B'	A	B				

### 振り返り欄



「観点別評価をすることで、生徒に何が還元されるのか？」長らく疑問に思っていたことです。

負担が大きい割に生徒に還元されないなら元も子もないと、これまでは考査点と平常点を、4観点に機械的に振り分ける「なんちゃって観点別評価」しかしてきませんでした。ですが、令和になったので重い腰を上げて、本格的な観点別評価に取り組み始めました。その過程で、「テストの問題も工夫しないと」、「ということは、授業のスタイルやポイントも変えないと

いけないかな？」等、思わぬ気づきや発見がありました。また新学習指導要領の3観点の1つ「学びに向かう力・人間性」をどのように評価するか、試行錯誤するきっかけともなりました。

その奮闘の一端をお伝えします。